



ほほえみの国から

Thai Mission News Letter No.14 ● September 2022



■家族構成

河野晃 (アキラ)

美千代 (ミチノ)

愛友 (マユ, 10歳)

愛絆 (アキ, 8歳)

愛恵 (アヒ, 5歳)

(写真) 一時帰国前、Bangkok Grace Churchの礼拝後に

「さあ、目を上げて、あなたがいるその場所から北、南、東、西を見渡しなさい。…立って、この地を縦と横に歩き回りなさい。わたしがあなたに与えるのだから。」

創世記 13:14-17

一時帰国の機会をいただいて

昨年末から悪化した首と腰のヘルニアの治療のために、6月初旬から家族を伴って一時帰国をさせていただいています。帰国後、二つの病院で検査を受け、医師の判断を仰ぎました。主の恵みにより、どちらの医師からも「手術はせずに回復を目指せよう」との言葉をいただくことができました。今は千葉県東金市に住む両親のもとで生活をしつつ、治療とリハビリを行っています。

創世記 13章において、「さあ、目を上げなさい」と主に促されて見渡した目の前に広がる土地、それは人の目には貧しくとも、主に信頼して歩むアブラムに

とっては、主が示された恵みにあふれた約束の地であったことを思わされています。私たちも真実な主に促されて目を上げる時、今ある状況はタイ宣教においてマイナスなのではなく、むしろ主の約束の確かさと、主の大いなるみわざを体験する恵みの機会になると信じています。



日本の学校に通う子どもたち

祈りについての証し

私たち家族が仕えている Bangkok Grace Church の早天祈禱会の様子と教会員の姉妹二人の祈りについての証しを動画にしました。下のQRコードをスマートフォンで読み取るか、その下の「https」から始まるURLをパソコンなどでご利用いただきご覧ください。(動画の長さ7分12秒)



<https://youtu.be/OYdNKDBCgHc>

バンコクからの恵みの便りと日本での主にある交わり



感謝礼拝で賛美する子どもたち

Bangkok Grace Church から恵みの知らせが届きました。私たち家族が不在の中でしたが、訪問伝道や日本語教室、スポーツミニストリーを通じて関わってきた子どもたちが続けて礼拝に集い、8月14日にはその子どもたちが中心となって、タイの母の日を覚えての感謝礼拝をもつことができたとのことでした。私たちも、私が手術を回避することができたため、急遽オンラインによる宣教報告の働きを始め、諸教会の皆さまと恵みに溢れた交わりの機会をいただいています。どうぞタイの人々の救いとタイ宣教のために続けてお祈りをお願いいたします。

■ 献金の御礼とお願い

皆様のお祈りとご支援によりタイでの働きが守られています。心より感謝申し上げます。タイでの宣教の前進のために引き続きお祈りとご支援をお願いいたします。

宣教献金振込先: 郵便振替

00120-5-142886

口座名義: 日本同盟基督教団

振り込みの際に「河野晃宣教師への指定献金」とご明記ください。



日高キリスト教会での宣教報告